

## 令和5年度 TAM ランド 草津園 自己評価

保育所保育指針において、保育士及び保育所の自己評価並びにその公表が努力義務とされています。そのことを踏まえ、TAM ランド草津園では保育の質の向上を図るため自己評価を実地しました。評価の結果を踏まえ、次年度の改善に生かしていきます。

評価について 評価をするにあたっては、以下の基準で評価を行っています。

(◎→よくできている ○→ほぼ出来ている △→努力が必要)

評価対象期間 令和5年4月1日から令和6年3月31日

項目	評価	評価の根拠・改善内容
<b>1. 保育理念</b>		
保育理念・保育目標を理解し正しく説明することができる	◎	
園目標や方針が保護者に知らされている	◎	新入園児説明会、年2回の個人懇談などで知らせることができている。
<b>2. 保育計画</b>		
保育計画を作成し、見通しを持った保育を実施している	○	
年間計画・年間行事の見直しをしている	◎	
<b>3. 人権尊重</b>		
子どもの人権が尊重され、大切にされていると感じる	△	社員は会社の人権研修に参加しているがスタッフさんにも必要と感じている。
<b>4. 個人情報保護</b>		
個人情報の取り扱いについて、入園時等で説明されている	◎	新入園児説明会で毎回丁寧に行っている。途中入園の方も同様。
業務上で知り得た子どもの情報に関する守秘義務について全職員で周知している	◎	全スタッフに周知できるよう議事録を作成し確認したらサインをすることと義務づけている。
保護者からの相談内容について全職員で周知している	◎	
<b>5. 保育内容</b>		
遊びに入れない子どもや全体の様子に気を配っている	◎	

子どもが伸び伸びと思いを表現できるような保育が行われている	◎	個々に成長発達は違うが一人ひとりの思いを受け止め丁寧に保育している。
遊びを通して、友達や保育士とのかわりが十分持てるよう配慮されている	○	0~2歳という年齢で個々に配慮が必要とされることから保育士との関わりが増えてしまう。
遊びや生活を通して人間関係が育つような配慮をしている	◎	
身近な自然や社会と関われるような取り組みがなされている	◎	園庭はないが、他の公園に散歩に行く機会は多く、他の園とも言葉をかわすようにしている。
園の行事や保育の内容が知らされている	◎	年間行事は年度初めに配布し TAM ランド通信は毎月配布している。
園以外が清潔で心地よい空間となっている	◎	
年齢に応じた保育が提供できるような環境になっている	◎	
子どもが落ち着いて過ごせるよう、保育室の雰囲気・おもちゃが工夫されている	◎	子どもが自ら絵本をとって見たり、玩具を選び手にとって遊べるよう整えている。
<b>7. 支援を要する子どもへの対応</b>		
配慮が必要な子どもの対応がされている	◎	毎日の生活のルーティーン化はもちろんのこと、保護者の方とのコミュニケーションも大切にしている。
<b>8. 保護者支援</b>		
意見や要望への対応ができています	◎	行事ごとにアンケートを取り、意見や要望があれば職員間で話し合い対応できることはしている。
職員が子育て等について話しやすい雰囲気や態度で接している	◎	ちょっとした受け答えでも相手が気持ちよくなるように柔らかい応答を心がけている。
<b>9. 安全対策・健康管理</b>		
保育中、体調への気配りや怪我等に対する配慮がされている	◎	朝の受け入れ時も体温を測ったりこまめに定期的に行っている。ヒヤリハットもきちんと記録している。
感染症の発生状況や注意事項等が知らされている	◎	コドモンの一斉送信や玄関に貼り紙をするなど発生状況や注意喚起を行っている。
子どもの成長を把握している	◎	毎月の身体測定、年2回内科検診、年1回の歯科検診、年1回尿検査を実施している。

不審者対策を行っている	◎	
<b>10. 食育</b>		
給食が楽しく食べられるよう工夫されている	◎	
食育を通して子どもたちが食に興味を持てるようにしている	◎	
子どものサインを見逃さないようにしている	◎	
アレルギー除去食の対応をしている	◎	
衛生管理の徹底をしている	◎	毎日こまめに玩具の消毒や窓・扉などの消毒を行っている。
<b>11. 地域支援</b>		
地域との関係が適切に保たれている	○	
<b>12. 職員育成</b>		
研修会等職員としての質の向上に努めている	△	職員のほとんどがパートの方ということもあり外部研修に行って頂くのが難しい。

#### 園全体の評価

社員、スタッフの異動で園の雰囲気が変わったが安心安全な保育を心掛けていた。4月当初は9名スタートだったが徐々に子ども達も増え、3月には16名になった。子ども一人ひとりの、できた・できないと結果だけを見るのではなく、興味や関心、取り組みなどの過程を理解することが大切でその事を保育に取り入れる事はできた。

#### 来年度の課題

子ども達にとって安全安心な保育はもちろんの事、目標は立てて終わりではなく、日々の実践や確認、改善まで行うことで1セットだと思います。その為にも、今年は、内部研修だけでなく、資質の向上を図る為にも外部の研修にも参加し、充実させていきたい。